

解答とポイント解説

【06】(上から順に) ついたち、ふつか、よっか、いつか、むいか、なのか、ようか、このか、とおか、はつか

■高学年でも日付の読み方があいまいなお子さんがいます。8日を「やつか」「はつか」と読んだり、20日を「にじゅうにち」と言ったり。日付は、約束を決めたり予定を立てたりする際に行き違いがあってはいけないものですので、しっかりと確認してあげてください。ちなみに、10日は「とうか」ではなく「とおか」になりますので、書き誤りがないかどうかとも気をつけて見ていきましょう。

【20】①借りました ②あげました ③借りました ④もらいました ⑤もらいました ⑥あげました

■コミュニケーションに苦手さがあるお子さんの多くが、「かすーかりる」「あげるーもらう」などのやりとりのことばを苦手としています。立場によることばの区別がつかみにくいようです。時に図示やロールプレイ等も取り入れながら支援してください。

【29】①(順に)に、は、を ②(順に)を、は、には ③(順に)が、を、に、も

■適切な助詞を選択する課題です。ことば同士を特定の関係でつなぐ助詞は、一つ違うと意味が大きく変わってしまうことがあります。お子さんが、より適切に言いたいことを伝えられるよう、基礎固めをしておきましょう。なお、1文ごとに文末までしっかりと読んでから考えるように指導してください。

【36】①魚のたまご ②楽器の音の出し方

■話のテーマをつかむための課題です。文脈を理解せずに単語に注目してしまうと間違えてしまいます。何を言いたいのかをつかむ力の基礎となりますので、誤答がみられた場合にはていねいな解説が必要です。

ぜひこの教材見本をお子さんの指導・支援にご活用ください。

「解答とポイント解説」では、問題ごとに伸ばしたい力やまちがえやすいポイントなどを解説。合わせてご活用ください。

- 1 ひづけ 日付 (下に線の引いてある部分) ぶぶん の読み方をひらがなで
書きましょう。

れい (例) いちがつ 3日 (みっか)

にがつ 1日 ()

さんがつ 2日 ()

しがつ 4日 ()

ろくがつ 5日 ()

しちがつ 6日 ()

はちがつ 7日 ()

くがつ 8日 ()

じゅうがつ 9日 ()

じゅういちがつ 10日 ()

じゅうにがつ 20日 ()

1 () のことばのうち、正しいほうを○でかこみましょう。

- ① ケンタさんは、^{としょかん}図書館で本を
(かしました ・ ^か借りました)。
- ② ケンタさんは、自分の絵本を弟にかして
(あげました ・ もらいました)。
- ③ 学校にいたら、雨がふってきました。まいさんは、かさを持^もって
いなかったの、ケンタさんから
(かしました ・ ^か借りました)。
- ④ ケンタさんは、自分のたん生日にケーキを買って
(あげました ・ もらいました)。
- ⑤ おじさんが^{りょこう}旅行から帰ってきました。ケンタさんは、おみやげの
アメを (あげました ・ もらいました)。
- ⑥ ケンタさんは、アメをたくさん持^もっていました。友^{ともだち}達から
「アメをちょうだい」と言われたので
(あげました ・ もらいました)。

1 文の意味が通るように、下からてきせつなことばを選び（ ）
に書きましょう。同じことばを2回使^{つか}ってははいけません。

①

夕方、急^{きゅう}（ ）雨がふってきた。

わたし（ ）かさ（ ）さした。

に は を と

②

妹が、自分のコップ（ ）落^おとしてしまった。

妹のコップ（ ）われてしまった。

あぶないので、われたコップ（ ）さわらないようにした。

には と は を

③

ねこ（ ）ねずみ（ ）追^おいかけた。

ねずみは、カベの小さなあな（ ）にげこんだ。

ねこは、1時間（ ）ねずみが出てくるのを待^まっていた。

を も が に

- ① 次の文を読んで、それぞれの文のテーマを一つ選び（ ）に○をつけましょう。

①

たらこはタラという魚のたまごです。イクラもサケという魚のたまごです。

() 魚のたまご () 魚の名前 () 魚の料理りょうり

②

ピアノには、黒いけんばんと白いけんばんが、合わせて88ある。その一つ一つのけんばんをおすと、けんばんのうらにあるハンマーが、ピアノの中にあるげんをたたいて音が出る。

笛ふえには、多くのあながあいていて、指ゆびでおさえながら、息いきをふきこんで音を出す。

このように、音の出し方は楽器がっきによってちがうのだ。

() 楽器がっきと数字 () げんとあな
() 楽器がっきの音の出し方 () オーケストラ